

## 審議会等会議録

審議会等の名称	令和3年度第3回山口市立図書館協議会
開催日時	令和4年3月17日（金曜日）14:00～15:30
開催場所	山口情報芸術センター 2階 多目的室
公開・部分公開の区分	公開
出席者	安光会長、伊東副会長、中村委員、大野委員、田邊委員、坂田委員、原田委員、國弘委員、山口委員、牛見委員、吉野委員
欠席者	山本委員
事務局	松富中央図書館長、桶島小郡図書館長、小野秋穂図書館長、中原阿知須図書館長、楳本徳地図書館長、塩見阿東図書館長、村中中央図書館副館長、尾崎中央図書館管理担当主幹、水師中央図書館サービス担当主幹
議題	1 令和4年度予算概要について 2 第四次山口市立図書館サービス計画策定に係る「市民アンケート調査」について 3 その他
内容	<p>○中央図書館 村中副館長</p> <p>時間になりましたので、欠席や遅れての御参加などの御連絡をいただいている方は2名ほどいらっしゃいますけれども、定刻に予定の方は全員揃わっておりますので、会議のほうに入らせていただこうと思います。</p> <p>本日はお忙しいところ、お集まりいただき、ありがとうございます。</p> <p>私は進行を務めます、中央図書館サービス担当副館長の村中でございます。よろしく願いいたします。</p> <p>本日は山本委員さんが御欠席で、吉野委員さんは授業の関係で少し遅れての御参加でございます。</p> <p>委員の過半数の出席がございますことから、山口市図書館条例施行規則第24条により、会議は成立しておりますことを報告させていただきます。</p> <p>本日の資料につきましては、事前にお配りさせていただいておりますレジュメと席次表、委員名簿、各種資料はありますでしょうか。それと本日、皆様の机の上に置かせていただいております前回の協議会の会議録（案）と、資料として図書館年報を置かせていただいていると思いますので、御確認をいただき、もしなければ事務局のほうにお申し出いただければと思います。</p> <p>なお、第2回協議会の議事録（案）につきましては図書館HPに掲載いたしますので、委員の皆様にお確認をお願いいたしますが、ページ数も多いので、お帰りになって御確認いただきまして、修正・訂正が必要な箇所やお気づきの点がありましたら、3月24日（木）までに御連絡をいただければと思います。FAXでもメールでも電話でも結構でございます。</p> <p>また、本日の会議も議事録を作成いたしますことから、録音させていただきます</p>

ので、委員の皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます。

それでは早速ですが、図書館条例施行規則第24条により会長が議長とされますことから、これからの議事進行を会長にお願いいたします。

それでは安光会長さん、よろしくお願いいたします。

○安光会長

皆様、こんにちは。年度末のお忙しい時にお集まりいただきまして、ありがとうございます。皆様方の熱い思いを語っていただければと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、本日は報告2つと「その他」という3つです。

そのうち、まずは「令和4年度予算概要について」、事務局から御説明をお願いいたします。

○中央図書館 尾崎主幹

皆様、こんにちは。本日はお忙しいところ、ありがとうございます。

それでは早速でございますけれども、議題1「令和4年度予算の概要について」、わたくしのほうから御説明させていただきます。資料はお手元の3ページを御覧いただきたいと思います。

「令和4年度山口市立図書館関係予算の概要（総括事項）」についてでございます。

令和4年度予算編成にあたりまして、基本的な方針といたしましては、新型コロナウイルス感染拡大防止を最優先に取り組んでいくということでございまして、「誰もが安心して利用していただける施設」となるように、管理・運営を行ってまいるとございまして。

また、平成30年3月に策定させていただきました「第三次山口市立図書館サービス計画」の最終年に次年度・令和4年度はあたるということでもございまして、目標達成に向けて、各事業の総仕上げに取り組んでまいるとのことと合わせまして、次年度から5ヶ年の指針となる「第四次サービス計画」を策定する必要がございますので、総仕上げの事業を行いながら、今度は第四次のサービス計画の策定作業に入るとございまして。

続きまして概要でございます。市全体では当然、厳しい財政状況が続いているわけでございますけれども、管理的な経費、特に人件費とか保守業務経費については継続的な確保を図らせていただいておりますし、また、限られた予算内の中ではございますが、効率的・効果的な事業を推進してまいりたいと、そのように考えているところではございます。

次に、重点項目でございます。来年度、新たにさせていただく事業、それから継続的に取り組んでまいる事業の主なものでございます。

まず、「図書館管理運営業務」の中で、「第四次図書館サービス計画策定2年目」と書いてございます。これ、1年目は皆様方に御相談させていただきまして、アンケート調査のお金が今年度、ついておりますので、2年目として策定事業を行うと

いかたちにしております。こちらは、予算としては印刷製本費を挙げているところでございます。また、改めまして「第四次子ども読書活動推進計画」も同様に、5ヶ年間の計画を来年度たてていくということにしてしております。こちらは事前アンケート調査を行いませんでしたので、策定の経費としては印刷製本費を予定しているというところで、新規で挙げております。

阿東図書館にございます移動図書館車・ぶっくんでございますが、こちら、実は今まで車庫が無くて、外にそのまま野ざらしで置いていたという状況が続いております。こちらの車庫等の新築工事ということで、予算を取ることができております。こちらは車庫に合わせまして、動線となるさしかけも一緒に作りまして、作業効率を上げていきたいというふうに思っているところでございます。

また、「読書バリアフリー法」の関係もございますけれども、点字用パソコン及びプリンタの購入を行わせていただくということで、こちらも新規で挙げさせていただいているところでございます。

続きまして、「図書館活動推進事業」についてでございます。こちらは「山口県央連携都市圏域」というのが今年「ゆめ回廊」ということで1年間、随分たくさんとイベント等を行わせていただきましたが、こちらは7市町で作っている圏域でございます。こちらの「図書館活用促進プロジェクト」としまして、交流促進イベントを行わせていただきたいということで、1年目として挙げさせていただいております。

以上が総括事項になります。

続きまして、見開きの4ページ目を御覧いただきたいと思っております。A4の横開きの表を見ていただきたいと思っております。こちら、今度は「予算概要（事務事業別）」ということでございまして、1番から7番まで順に番号を振っておりますが、例年どおりの事業の本数でございまして、図書館は7本の事業を組み立てて、いつも行わせていただいているところでございます。それぞれの、今年度の予算と比べての増減ですとか、新規の事業内容についての御説明をさせていただきたいと思っております。

まず、一番大きい予算をもっておりますが、「図書館管理運営業務」についてでございます。これは単に、運営に関する経費でございますが、今年度の1億9,629万1千円の予算に対しまして、次年度予算が1億9,069万8千円ということで、559万3千円の減というふうになっておりますが、これ、実は毎年、単年度で行っていく新しい事業の増減の差でございまして、本年度、小郡図書館の屋根の改修工事を今年、大きい予算を使ってやっております。そちらが単年で終わったということもございまして、その差額が主に500万円の差になっているというふうに考えていただけたらと思っております。

「備考」のところには、先ほど御説明をしましたが、それぞれの事業について書き上げをさせていただいておりますが、ちなみに「図書館サービス計画」の印刷製本代は14万6千円ですね。「子ども読書推進活動」は紙の質を少し下げられておりま

して、6万円ぐらいの予算をたてております。それから、阿東図書館の車庫等新築工事は1,500万円の予算を今、たてております。それから、点字用パソコン及びプリンタについては200万円。この4本の事業が新規に、今年、単年で行ってまいりたい事業ということでございます。

続きまして、2番目の「移動図書館管理運営業務」についてでございます。こちらは今年度、129万4千円だったのですが、次年度は97万9千円になっております。これは、実は車検があるか無いかの差でございまして、2台同時に車検を受ける年と受けない年が交互に来ていることもございまして、今年度車検を受けて、来年度は車検が無いという差額でございまして。

それから「図書館資料整備事業」でございます。これは資料の購入に関する経費でございまして、全く同額の予算を付けたわけでございますが、4,737万1千円ということで、これで全6館の資料費を賄っていくということでございます。

4番目の「ブックスタート推進事業」、それから、5番目の「子ども読書活動推進事業」を見ていただきますと、事業費の調整で5万5千円ずつやりくりをしている予算構成になっているところでございます。

現状は「ブックスタート体験会」を中央図書館のほうで開催しておりますが、(コロナの関係で)まだ、読み聞かせはしていない状況でございまして、「ブックスタートパック」のみをお渡しすることを続けさせていただいております。

地域館によっては、人数が少ないところは読み聞かせをしてらっしゃると思えますけれども、また、時期が参りましたらしっかりと読み聞かせもできるような体制になっていくと良いと思っております。

「ブックスタート」につきましては、次年度もしっかりと取り組んでまいりたいと思っております。また、「子ども読書活動推進事業」につきましては、様々なイベントを行ったり、おはなし会を行ったりもさせていただいております。

今、中央図書館では新たに「パレットさん」というお話の会が、ボランティアさんで結成されまして、毎月第4土曜日にやっていただいております。そういう新しい活動も今、出てきているということもございまして、既存の図書館で行ってまいりますおはなし会と共に、一緒に進めてまいりたいと思っております。

また、現在、保育園につきましては35園に配送を行い始めまして、昨年9月から、基本的に希望される保育園、認可保育園も含めまして、認可保育園・幼稚園・小・中全校につきましては、団体貸出・配送を行っていくということでございまして、これも続けてまいりたいと思っております。

それから、6番目「学校図書館支援サービス事業」についてでございます。こちらは同額の538万1千円という予算をたてておまして、すみません、先にこっちを言ってしまうましたが、幼・保・小・中への配送と団体貸出用の資料の充実を図ってまいりたいということでございます。

それから最後、7番目「図書館活動推進事業」についてでございます。こちらは

様々な図書館を活用していただくためのイベントですとか、行事なんかを仕組んでいくわけですが、こちらに先ほどの県央都市圏域の交流促進イベントの事業費、27万円ほど組ませていただいております。また、「まちじゅう図書館推進事業」につきましては今年度から、こちらの「活動事業」のほうでやらせていただいておりますが、また引き続き、一生懸命取り組んでまいりたいと思っております。現状は15店舗の業者さんに御協力をいただきまして、「まちじゅう図書館」の活動を進めてまいっているところでございます。

総額を見ていただきたいのですが、2億5,425万9千の予算に対しまして、2億4,862万1千円ということで、ほぼほぼ既存の予算は確保しつつ、単年で行く事業費の差がこの差になっているという見方をさせていただけたらと思います。

以上でございます。

○安光会長

ありがとうございます。

すみません、7番の備考の上のほうの「図書館美活用」は、「利活用」ですね。

○中央図書館 尾崎主幹

「利」です。漢字間違いです。

○安光会長

それでは、概要をまとめてくださっていて、継続のものと、新規が4点あるということ。特に新しいところは「県央連携都市圏域」というふうなプロジェクトがあるということで、A3の紙とA4の紙を御覧いただきまして、何か御質問・御意見等あればよろしくお願いたします。

お名前を言われたほうが、議事録がとりやすいと思うので、お名前を言っていただければと思います。よろしくお願いたします。

○田邊委員

7番の7市町のプロジェクトの交流促進って、具体的に案のようなものはあるのでしょうか。

○中央図書館 尾崎主幹

今の状況からいきますと、本年度、7市町の担当同士でお話した時には、「ウォーリーをさがせ！」という有名な本がありますけれど、その関係業者さんとお話をさせていただけるのであれば、実はお金をたくさんかけずに、各図書館で「ウォーリーをさがせ！」というイベントができるというふうなかたちでお話を進めていたわけなのですが、「果たしてそれで良いのか。」というような御意見もありますことから、次年度、実際にどういう行事にするのか。連携イベントですので、同時開催をしていくようなかたちのイベントを考えていきたいということで、まだ、内容的には未定ではございます。ですので、金額的には周知をするための予算と、景品といたしますか、お渡しができるような予算をたてていくということで、少額ではあるのですが、まずは取組を進めていきたいということでございます。

○安光会長

他にいかがでしょうか。

これは、予算は確定しているので、これについてどうこうしていただきはないのだけれども、何か、この部分はどういうことですかといった今のような質問があればと思いますけれども、よろしいでしょうかね。

来年度は「第四次図書館サービス計画」策定に入られるということですね。令和5年度から「サービス計画」が、5から9年までということになりますね。「子ども読書活動推進計画」も同じくというようなことでしょうかね。

それでは、このプロジェクトは楽しみにして、どんなものがあるかってことで、できるだけコロナが収束して、人が行き交うようなイベントができるというか、プロジェクトが立ち上がると良いなと思っております。

○中村委員

7番の事業についてなのですけど、ちょっとイメージが持ちにくくて。「図書館利活用促進プロジェクト」として、交流促進というのは何が、利用者が交流するのか、図書館同士の事業が交流をしてサービスが促進されていくのか。ちょっとこの言葉が、誰に対してというのが分かりにくいのですけれども。

○中央図書館 尾崎主幹

イメージとしては行事・イベントを介しまして、最終的な目標としては、圏域内の住民の方がどこの図書館でも利用できるというかたちに、いずれもっていききたいという第一歩としてとらえております。

つまり、山口市の図書館であれば、この圏域内全ての住民の方がカードをお作りいただいて、利用できるということにしています。ただ、そうではない地域もまだ、随分残っている。そうしたことを、全部の図書館が、誰でもカードを使って、使えるようにしていきたいという思いの中で、まずは各図書館を知っていただく、いろんな図書館を周っていただいて、「こんな良い図書館があるね」というのを知っていただくために、周りながら、いろんな図書館を知っていただくためのイベントにしていきたいというような、第一歩目の思いでございます。最終的には圏域内の人が誰でも、どこの図書館でも使えるということを目指しております。ということで、「利活用」という言葉を使っています。

○中村委員

ということは、まずは図書館が7市町でどこでも貸し借りできるというシステムを作ることが目的になる。

○中央図書館 尾崎主幹

第一歩目はそこまで行きたいというのが、山口市立図書館としては強く思いを持っています。

○原田委員

確認なのですけど、今、同じカードで市内どこでも使えますよね。

○中央図書館 尾崎主幹

はい、使えます。

○安光会長

今、その市を超えてということで、市内は使えますけれども、もうちょっと、例えば、山陽小野田も入ってきているわけですね。

○中央図書館 尾崎主幹

そうですね、山陽小野田市の市民の方は山口市の図書館が使えるのです。でも、山口市民の方は山陽小野田市の図書館がまだ使えない。そういうところを全部取っ払っていきたいというイメージです。

○安光会長

そのうち、圏域全部が、1枚で使えるようになる気がしますが、そういうのがあると良いですね。

まあ、利用カードがだんだん要らない時代になってくるかもしれませんので、いずれはスマホひとつでどこへでも行けるというふうな感じになってくるかもしれません。

○國弘委員

今の交流促進イベントって、この「イベント」にちょっとすごくいろんなこと、催し物をされるだろうなと思ったのですが、お話を聞いていると、どうもこれはそれほど大きくはないような感じなのですけれども、その辺、教えてください。

○中央図書館 尾崎主幹

予算的にも、おそらく、今年度については何かひとつ、7つの市町の図書館で同時に何かイベントをやっていきましょうよというぐらいになるのではと。今はまだ実は以前、一度やっていたのですが、このコロナの間でできなくなってしまって、もう1回リスタートと言いますか、そういうかたちでまた、進めてまいりたいなと思っているところでございまして、大きなイベントまでは考えていません。

○安光会長

結局は、山口市がリーダーシップをとということでしょうか。

○中央図書館 尾崎主幹

そうです、事務局のほうを持たせていただいています。

○安光会長

他の6市町が、それぞれ予算があつてということでしょうか。

○中央図書館 尾崎主幹

予算も、このイベントをやることだけが決まっていて、もしかしたら予算は既存の予算の中で出されてかもしれないです。商品代だけぐらいしか、他には求めないので。なので、ちょっとそこまで分かってないのですけれども。

○安光会長

でも、スタートしてみないとね。まずは27万であれ、何であれ、スタートをしていただくということがとても大事な事かなと思っております。どうも、イメージが湧かないみたいですので、次回の時は何か、もうちょっと具体的になっている

ことを願います。

○中央図書館 尾崎主幹

また、次年度になりましたら、事業に向けて話し合いが始まると思いますので、また御報告ができると思います。

○安光会長

ちょっとまだ、さっきの「ウォーリーをさがせ！」なんていうのもありましたけれど、今後はまた、変わっていくのではないかということで、よろしいでしょうかね。

それでは次に行かせていただきます。また、もし、最後に、予算のことが気になるということになれば、その時、おっしゃってくださっても結構でございます。

それでは次に、「第四次山口市立図書館サービス計画策定に係る『市民アンケート調査』について」、事務局のほうから説明をお願いいたします。5ページを開けてください。事務局から説明をお願いします。

○中央図書館 水師主幹

サービス担当の水師です。

市民アンケートの関係で、今現在というか、途中経過というか、今の状況をお伝えしようと思います。

調査対象としては、山口市内に在住する18歳以上の市民ということで、無作為抽出を行いました。

配布・回収方法は郵便で発送して、回収は郵便で送り返してもらうのとWeb回答、パソコンとかスマホで回答できるようなものを急遽、集計する業者さんと話している時に、「結構少ない費用で、Web回答ができますよ」ということがあったので、急遽、Web回答というのも追加しております。

次のページの半分から下のほうに「回答方法を2通りから選べます」ということで、文書で回答される方は返信用封筒で投函していただき、Web回答される方は、ここにQRコードが実際にはあるのですが、それを読み取っていただいて、パソコン・スマホで回答していただくという方法に、ちょっと急遽、変えさせていただきました。

調査期間としては、今年の1月27日に郵便を発送しまして、回答を2月28日までをお願いしますということで郵送しております。

配布数は、2020。転出等で郵便が戻ってきたのが3件あって、調査対象は、2017となっております。これ、「3月7日現在」と書いてあるのですが、その後2件郵便が帰ってきて、今現在で回収数が702。

内訳として郵便が551、Webが151で、回収率としては34.8%ということになっております。前回、5年前に同じようなアンケートをした時は、調査対象数が2006で、回収数が632で、回収率が31.5%だったので、3.3ポイントぐらい回収率が増えたということになります。実際に送った内容については、次のページから9ページぐらいまでに付けております。集計を今、業者さんに

頼んでいるのですが、今日明日ぐらいに届いたぐらいのものを集計に間に合いそうなので、この数字もちょっと変わるかもしれませんが、大体今の状況ではこういう感じで、こういう数字になっております。

今月末までには集計していただいて、来年度の最初の協議会で、その集計結果をお示しできるのではないかとということで、さらに来年度、何回か集まっていたいで、実際の計画の内容を検討していただくという流れになっております。

○安光会長

はい、ありがとうございます。

実際のアンケートを付けております。前回、このアンケートについては、「こういうのを入れたらどうですか」とか、いろいろと申し上げましたけれども、それはどうされたのかという報告はありますでしょうか。継続性というところで、そういう話もありますけれども。

○中央図書館 水師主幹

前回、いろいろと意見をいただいたのですが、実際はあまり変更点が無くて、6ページの間13の選択肢に「6. 図書館まつり」「7. こどもワイワイ図書館」というのを追加させていただいたのが主なもので、後は、ほぼ当初のこちらが提示した内容でやらせていただきました。

○安光会長

残念ながら、わたくしのところには、アンケートは届きませんでしたので、回答することができませんでした。

まだ、業者の方に投げているというところなので、これの結果はまだ分からないということですね。

回収率のことなんかも申し上げられたということと、継続性ということで、これまでのものと何か比較される部分が出てくるのか。継続性を大事とされたということですね。

今後は、今のコロナ禍でオンラインとか電子書籍とか、どんどん増えておりますので、たぶん次は変わってくるんじゃないかと思います。

これについて御意見はといっても、結果そのものが出ておりませんが、何か、次回を楽しみにするというので良いでしょうか。

質問ですけれど、この3割ぐらいの回収率34%というのは、回収率って大体、市がやられるのはこのぐらいでしょうか。

○中央図書館 水師主幹

大体それぐらいじゃないかなと思います。一応、統計的にはどれぐらい回答を得たら有効かというのが、実際、330以上あれば統計面では有効と聞いております。

○安光会長

だからこれは紙で返されていて、郵送の方もあれば、郵送で来たけれどもWebで回答された方もあります。いずれはだんだん、Webで回答というかたちが増えて

くるかもしれません。それが入っていたりするので、少しやりやすかったという方もあるかもしれません。

○中央図書館 水師主幹

若い方とか、We b回答が多かったかもしれません。

○安光会長

また、そういうのが分かるかもしれません。We bがどういう世代の人がされたかとか。結構、70以上の方がWe b入力というのもあったりして。

よろしいでしょうか。これについてはまだ、結果が全く分かっておりませんので、報告を楽しみにするというところでお願いいたします。

それでは、「その他」につきまして、事務局から何かありますでしょうか。

○中央図書館 尾崎主幹

2点ほどお知らせしたい事項がございます。

資料の1番下にカラフルなチラシを付けてございます。こちらをちょっと御覧いただきながら、お聞きいただきたいのですが、実はMe g r i b a (メグリバ)さんですね。新山口駅北口隣、「KDD I 維新ホール」の中にあります「産業交流スペース Me g r i b a (メグリバ)」さんのほうで、図書館の本の受取ができるように協定を結びまして、今、取組をさせていただいているところでございます。

御予約をネット等でいただくことができるのですけれど、その図書館で予約していただいた本をMe g r i b a (メグリバ)さんで受け取ることができる。

また、Me g r i b a (メグリバ)の窓口が開いている時間であれば、本の返却もまだ、ブックポストは設置しておらず、今は窓口で返していただいているのですけれども、窓口が開いている時間、午後10時まで開いているのですけれども、その時間でも返せるというようなかたちでやっております。

駅を御利用の方、また、御近隣の方でも結構ですし、図書館の開いている時間に間に合わない方に御利用していただけるということで、非常に期待しているわけでございます。これを3月16日から実際に受け取れるようにしているわけですが、3月9日から予約受付を開始して、取り組みを始めたというところでございます。

状況からいきますと、徐々に、普段、他でお受け取りの方もMe g r i b a (メグリバ)での受取に変えられることも徐々に出てきておりますし、今からどんどん御利用が増えてくるのではないかということで、非常に期待をしているところでございます。

また、利用時間が先ほども言いましたように、午前9時から午後10時ということで、その時間帯が利用できますものですから、非常に時間を有効に使っていただけるのではないかなというふうに思っております。

また、Me g r i b a (メグリバ)のスペースには団体貸出で図書館の本も置いております。

実はMe g r i b a (メグリバ)さんは専門書を主にコーナーに置いてらっしゃるので、それ以外にもうちの図書館の本を置いていただいて、閲覧だけで

すけれども、読んでいただけるコーナーを設けていただいておりますので、市民の皆さんもそちらのほうへお気軽に来ていただいて、本を読んでいただくこともできようかと思っていますところでございます。以上が、その御報告でございます。

それからもう1点、続けてよろしいですか。

「こどもワイワイ図書館」についてでございます。

次年度、令和4年度の「こどもワイワイ図書館」につきましては、4月30日(土)に、全館一斉に開催させていただくということで予定させております。

例年より1週間ほど、今年度に比べると遅くなりますが、お手伝いいただく方も多数いらっしゃると思います。

今、3月末を目途に事業内容を調整しながら、情報のほうをリリースしていきたいと思っておりますので、是非ともよろしく願いできたらと思います。

以上でございます。

○安光会長

どうもありがとうございました。

Me g r i b a (メグリバ)、本当に近いですね、新山口駅のすぐ北側ということで、そこで、予約の本を受け取れる。返却もできるというようなこと、4月30日に「こどもワイワイ図書館」ということの御報告でしたけれども、何か御質問とかはよろしいでしょうか。

○中央図書館 松富館長

Me g r i b a (メグリバ)ですけれども、昨日からですけど、初日に5件ありました。

○安光会長

早速どなたか、午後10時まで開いているところがお帰りになられる時によってというのがあるかもしれません。他のところは、そこまでは開いておりませんのでね。

それでは、今日はこれでやめるわけじゃないですけど、予算の概要等、市民アンケート調査の回収率のことと、それから今の2件の報告ということでした。

まだ始まって40分ぐらいなので、皆様方からさっきの予算のことでも結構ですし、アンケートのことでも結構ですし、今のMe g r i b a (メグリバ)のことでも結構です。また、他のことでも、日頃、ちょっと思ってたこと、気になっていること等あれば、お願いしたいと思います。どなたからも良いですので、よろしく願いいたします。

○坂田委員

ここで、「その他」で協議したことを、次の会でそれがどうなったという検証という面で、このMe g r i b a (メグリバ)のことは何回かできたら良いですね。

また、専門書という御意見をたびたびおっしゃっていたので、それが活用されて、実際に運用されているのは素晴らしいなと思いました。

それから以前、昨年一度言ったのですけれども、今日、午前中に秋穂図書館さん

におじゃまさせていただいて、おはなし会がとても素晴らしくて、他にも小郡図書館さんでしたら、児童書関係ですけれども、「乗り物」「動物」とか、分野別に置いてありますし、阿知須図書館さんだったら、いつも手作りの展示が素晴らしくて。そういうことを広報などで紹介していただけたら良いなというのを以前、言ったことがあって、毎年は無理だと思うのですがけれども、広報で3・4年前は秋のお祭りの前ぐらいに、市報のカラー版で紹介してくださった時があって、そういうふうに何年に1回、広報で各図書館を紹介していただくのもよいと思います。

先ほどの7市町で交流するとき、以前、スタンプラリーもありましたけれど、あの時も各図書館のことを少し紹介して、それで、徳地とかもとても興味があって、重源の関係の図書とか、そういう「各図書館のこういうところが素晴らしいですよ。」ということ、秋穂図書館さんだったら、布のタペストリーで絵本が作られているとか、いろいろ素晴らしいところがあるので、そういうおすすめポイントを、27万円の中なので無理かもしれませんが、そういうことを各図書館の紹介とかを書いていただくと、「あっ、あの図書館、ちょっと行ってみようかな。」と思われるかもしれないので、そういうのも良いかなと思っています。

○安光会長

おすすめポイントというようなことで何か、図書館の紹介みたいな感じ。ただ紹介、概要は面白くないけれど、おすすめポイントみたいなことなんかどうでしょうか。

○原田委員

それぞれの図書館に特有の蔵書があると思うのですね。そういうものを紹介してもらおうとよいと思います。今、自分が行かなくてもお取り寄せできるから、どんどん、自分のところにはこういう特色があるよというのをやってもらおうと、いちいち足を運ばなくても便利かなと思います。

どの図書館に、どういう特色ある蔵書を持っていらっしゃるかというのがなかなか素人には分かりづらい。いつか、徳地行った時に、「ああ、ここにはこういうのがあるんだ」と思った経験があるので、そういうのを、足を運ばなくても知れるようなシステムを作ってもらおうと嬉しいかなと思います。

○安光会長

おすすめポイントを書いたような物を作るとか、広報を上手く使って、それぞれの市町の広報を使えば、面白いかもしれません。7市町が一緒にやるものであれば、それぞれで出していくというふうなことは必要かなと思います。

他にはいかがでしょうか。

○田邊委員

3点あるのですけれども。

○安光会長

では、1点ずつでも良いですか？ 3点言われても良いですけど、ひとつずつ、お願いします。

○田邊委員

まず、報告なのですけれど、2月20日に小郡図書館友の会「蜂の子」主催で、Me g r i b a (メグリバ)さんも一緒に主催したのですが、維新ホールで「葛原猪平伝」という講談会をしました。市民の方、200人に参加していただきました。

協賛に地元の企業とかも入ってくださったりして、とても良かったのですが、山口市や小郡図書館さんとかが協賛してくださったらもっと嬉しかったなと思います。すごく好評でした。今後もそういうことがいろんな図書館でできたら、図書館間が連携して、山口市などでできたら良いなと思いました。

それから2点目なのですが、今度、私たち、図書館友の会「蜂の子」では、来年度の事業計画で、高校生向けの小論文の勉強会をしようと思っています。小郡図書館の2階の部屋を使わせていただいて。というのが、図書館の利用というのは、小さい子は親が連れてきてというのが多いのですけれども、高齢者になったら、大人になっても多いのですが、中高生の利用がたぶん少ないと思います。

それで今、学校の生徒たちに求められているものって非日常ですとか、そういうものだと思います。小論文って特に今、受験とかではすごく重要視されている部分です。高校だけの勉強では足りなかったり、急に勉強し始めなきゃいけなかったりして、そういうときに図書館が利用できないだろうかということで、そういう情報を得る場として、「図書館にはいろんなものがあるよ」とか。図書館にまずは足を運んでもらおうということで、その企画を考えています。

それと一緒にコラボして、地元のNPO法人の「(こども)明日花プロジェクト」の、パンと飲み物を配る「パントリー」を図書館でして、高校生が来て、お昼を外で食べて帰ってもらうとかたちのイベントというか、そういう講演会を企画しています。

図書館さんをお願いなのですが、ぜひ、夏休みとか春休みとか、子どもたちが学校で自習する部屋を開放していただきたい。やっぱり、家では落ち着いて勉強できないお子さんって、すごくたくさんいるのが現状です。図書館などで、無料で借りられて、そこで勉強できるというのはすごく大事なことです。塾とかに通っているお子さんは勉強が足りるかもしれませんが、そうじゃない子の受け皿として、図書館の開いているお部屋を本当に活用していただきたい。使っていただきたいし、もし、それに人手がいるのであれば、こういう友の会とかに声をかけていただいて、市民ボランティアを探すとかして、やっていただけたら、子どもたちの将来にも良いんじゃないかなというのをすごく思います。

それと3点目はMe g r i b a (メグリバ)のことなのですが、すごく良いと思うのが、夜の10時まで本の受渡ができるということで、例えば、高校帰りの駅を使う学生さんたちにもすごく良いと思うのです。だからぜひ、高校とか中学でもこのチラシを配っていただきたい。図書館には行けなくても、ここで受渡ができるよって。また、ここは産業交流スペースなので、働く方たちがいっぱいいらっしゃいます。座ってお話をする場もあるので、そういうイベントもそのうち、できたら良い

と思うので、ぜひ、これを高校で配っていただけたらと思います。

○安光会長

3点ありました。高校生にということ、素晴らしいなと思います。いつも私、「高校生へのサービスはどうするのですか」というふうなことを申し上げて。山陽小野田だと突破しちゃって、サビエル高校とか市内の高校とか、連携をすごくとっていらっしゃるのだけれども、他のところはなかなかというところがある。でも、防府なんかも今、少し推しているということも聞いておりますので、今の、突破されていくところが、友の会のほうから突破していくというところがすごいなと思っております。実際、小論文の勉強会というのは、高校生が、その場所で勉強するということですか。それとも指導されるのですか。

○田邊委員

指導者を呼んで行います。小論文がどんなものかさえない学生さんっていっぱいいらっしゃるので、そういうものの組み立て方とか、図書館って新聞とかもありますし、ネットも使えますし、情報の得方とか本を読むとか、そういうのを学べていけたら良いなと思っております。

○安光会長

まずはスタートされるということで、その場の開放みたいなことで。市立中央図書館でいえば一番奥の部屋が、よく高校生とか座っておりますけれど、そういう「開放」ではないという意味でしょうか。

○田邊委員

空いている会議室というか、多目的室みたいなものを、自習室として開放していただけないかなと思います。

○安光会長

それは要望ということで、各図書館で考えていただき、今はなかなか新型コロナウイルス感染症のこともありますので、そういう御意見もあったことは受け止めておいていただきたいと思っております。高校生の居場所、それが勉強につながるようなこと、社会に出た時とか、大学受験とかいろいろあるかと。高卒後に、社会に出る生徒さんもいるかと思うので、その手助けという。小論文は企業を受ける場合にも必ずいるから、その辺の指導をということだそうです。

他にいかがでしょうか。

○中村委員

2点ほど気づいたことというか、シェアも含めてなのですけど、ひとつは、私が利用するのは中央図書館が多いのですが、ちょっと手薄だなと思うのが、外国語の本が科学の絵本の隣にちょっとありますよね。英語に限らず、これからどんどんいろんな国の方が山口市内に入ってこられる可能性があると思うので、もう少しあそこを充実していただけたらなという気がします。あまり新しいものが入っている感じがなくて。英語に関しては、母語が英語の方だけでなく、小学校とか英語教育が入っていますから、いろんな利用の仕方があると思うので、ちょっと全体の蔵

書に対して、もう少しあそこが充実したら良いなというふうに思っています。

それと、いろんなイベントとか、「まちじゅう図書館」とのコラボで本当にいろいろとなさっていらっちゃって、それは素晴らしいなと思っています。今、具体的な名前が出てきませんが、柳井図書館とか下松図書館は、図書館が執筆して編集している地域文化の本を出しておられるのですね。で、もう20年経ちますよね。そういう中で、イベントも良いですけど、図書館ならではの、図書館によるそういう地域史料に関する執筆作業というか、そういうものを作っていくことも、今後、ぜひ考えていただきたいなというふうに思っています。

○安光会長

ありがとうございます。

外国語の本の充実、どこも難しいですけども、多文化サービスというところになかなか目を向けるところが難しい。公立図書館でしたら、県立では「やさしい日本語講座」なんていうのもありましたし、外国の方を受け入れるということは、やっぱり、資料が無いと来られませんもんね。それを考えてほしいということと、地域史料。防府なんかはずっとやっていますよね。それこそ、タイトルは忘れちゃったけれど、いつも防府に行っては地域史料のほうをずっと継続してらっしゃるみたいですから、山口市もそういう地域史料の成果物というふうなことをお願いしたいということですので、また、お考えいただきまして、今後、そういうことができるのかどうかというところなんかは御検討いただければ、ということと、やっぱり結果も聞かないといけませんね。「ちょっともう少し待ってくれ」とか、「そろそろ始まります」とか、そういうこともぜひ、御回答をいただければと思います。

○大野委員

最初に予算の説明がありまして、阿東図書館に「ぶっくん」の車庫をつくと記しておりましたが、どこの場所に造られるのでしょうか。

それから、「何で『ぶっくん』を阿東に置かれるのかな」と、不思議に思うのですね。運転手さんがわざわざ1時間かけて阿東のほうへ行くのが大変だろうと思うのですけれども、その辺、どうなのでしょう。

○中央図書館 尾崎主幹

まず、位置なのですけれども、表側の駐車場の一角に建てさせていただく、図書館の表側ですね。

○大野委員

あの上に屋根を造るのですか。

○中央図書館 尾崎主幹

車庫を作ります。図書館から直接本が出し入れできるように、差し掛けをそこでつないでいくというふうなことを考えております。

それから「ぶっくん」については、北部の拠点として阿東があると、図書館は考えておりまして、実は、運転手さんはわざわざ行っているのではなくて、今、あらにいらっしゃいます塩見館長が運転しております。というようなことで、中央図

書館にある南部を回っているものより一回り小さいものではあるのですが、阿東地域と徳地地域の拠点として、そちら側を受け持っていていただくということで、数年前、そちらに置かせていただくようになったわけでございます。

○安光会長

ここにある「ぶっくん」の大きいのも、私の免許でも実は運転できると言われて、私は怖くて運転できませんけれども、特別な車両ではないようです。オートマですかね。

○中央図書館 尾崎主幹

オートマです。

○安光会長

すごく大きく見えますが、普通免許でいけるそうです。ただ、ちょっと難しいですけれども。

○山口委員

先ほども言われていましたけれど、地域史料については以前から、なかなか少ない。ここで見て、県立で借りることが多いので、もうちょっと充実させたら良いなと思います。それと後、言われたように「山口市立図書館図書」を作っても良い時期ではないかと、私も思いました。

もうひとつ、Me g r i b a (メグリバ)さんで、というのはとても素晴らしいことなのですが、他のところで、どのような、具体的にどこで、というのは提案できないのですけれども、もっとこういうのを広げたらよいんじゃないかと。例えば山口駅で、誰がやるのかとなるかもしれないけれど、いろいろなところでやって、多くの人が図書館の資料を利用できるようになったら、もっと素晴らしいことではないかなと思いました。

○安光会長

ありがとうございます。

ひとつのきっかけに、ただ、人の問題がありますからね。ブックポストとちょっと違う部分、受取がありますからね。

○山口委員

具体的に提案できないから何とも言えないですけど、確か、一番最初に、この委員会に呼ばれた時に、そういうアウトリーチですごくいろいろと話しましたよね。病院でやったらどうかとか。結局まだ、ひとつも実現していない。やっとなんか一歩ですよね。これが。だから、できたら良いなと思います。成功すればまた、次にやろうということになるから。

○安光会長

地域史料についてはぜひお願いしたいと思います。今の中村さんの言われているのは、叢書の感じになってくるのでしょうかけれど、地域史料の充実と叢書というようなことをおっしゃっていてですね。

話は別になりますが、国木田独歩の展示がされましたかね。国木田独歩の展示を

ぜひということで、何度も言っていたけれども、生誕150年でしたね。

○山口委員

次年度が150年。今度、柳井図書館のほうに私、行く予定にしているのですけれども、国木田の資料の展示があつて、講演会も、高橋源一郎さんが来られるので、楽しみにしています。それが本当に無かったのが、残念でたまりません。

○安光会長

さっきの多文化というか、外国語。もう、全てのサービスをというのには、限られた人数では大変難しいとは思いますがけれども。地域史料というのは、その地域でしか収集できなかったりするので、ぜひ、そういうところにも力を入れて。そういう担当者というか、誰もができるわけじゃないと思うので、叢書を作るにはよっぽど専門の人がいないとできないんじゃないかと思っていますので、そういう人を育てていくというようなこともひとつ、大事なんじゃないかと。オールマイティーも大事だけれども、「地域史料なら私、負けないわよ。」というような人を育てていくのも大事なかと、今、皆さんの意見を聞きながら、山口ならではの資料を作っていくということでございます。それがまた、叢書に結び付くということになっていくのかなと思いました。

吉野委員さんどうですか。ひとりずつ、とにかくお口を開いていただくのが良いかなと思っています。

○吉野委員

中学生は非常に忙しいです。部活動とかも今の季節で、夕方6時過ぎまでやっています。そんな中で、本離れというのは本当に進んでいて、このような時刻にMegriba(メグリバ)みたいに本を借りたり返せたりということは、とても素晴らしい取り組みだなと思いますが、如何せん。私は宮野中学校におりますけれども、ここまで行くことがおそらくはできないというのもあるので、どんな場所でもどんななかたちでも良いので、このような取り組みがあつて、子どもたちが本を手軽に手にできる環境というのを、いろんなかたちで作っていけると良いんじゃないかと、お話を聞いて思いました。

○安光会長

小・中、高校生も含めて、手軽に資料を手にする事ができる場というような感じで。小学生も最近忙しいでしょうけれど、中高生はとても、塾もあつたり、いろんなことがあつたと思いますので、ひとつのきっかけづくりになるかもしれませんね。

○國弘委員

さっき、中村委員さんがおっしゃった外国語の本のことを聞きながら思い出したのですけれども、7・8年前、全国でみて、進学率の高い高校、その様子をテレビとかで拝見したのですけれど、朝読書に英語の本を絶対読ますというふうなことを目にしたんですよね。ちょっと興味があつたものですから、図書館に電話して「外国語の本はどれぐらいありますか」と聞いたんです。教えてもらえなかったん

です。「分かりません」というか、うやむやにされて。

今、お話を聞きながらちょっと思ったのは、小・中学生が英語学習をやっている。そうすると、小・中学生でも読めるような優しい英語の絵本だとか、簡単な小説だとか、そういう集団読書に使えるような冊数があると、学校の朝読書で読みたいという子は読めるだろうし、ときには、学級全体でそれを持ってきてというふうなかたちに活用できるのかなと。

ただ、それには予算もかかりますし、また、どんな本が良いのかとかあるかもしれませんが、少しずつ増やしていただいて、今、学校に持っていつている本の中にそれが1組でも入っていると、また、子どもは喜んで飛びつくんじゃないかというふうにちょっと思いました。

○安光会長

なかなか学校図書館では難しいかもしれませんので、そういうのをぜひ、団体貸出とかされる時にはぜひ、入れておくというのも良いかなという話を頂戴しました。

私のいる県立大学の場合は、清掃業者の方が東南アジアの方が多いですよ。ベトナム、カンボジアって言われる方が。わざと私は話しかけるのですが、やさしい日本語で話さなければいけないと思っていますけれど、そういう方は多いです。

今度、空調なんかもそういう方だったみたいですので、今は小・中・高校生用の外国語というのでも分かるのですが、そういう方たちも結構、山口にもいらっしたりするかと思いますので、さっきのやさしい日本語、それから絵本とか。そういう意味でも、その方たちが図書館へ足を運べるようなというのでも必要かなと。誰が利用するかってのもちょっと考えていただければなと思っております。

牛見先生、さっき何か言われていましたっけ。忘れちゃったので、どうぞお願いします。

○牛見委員

先ほどからお話に出ていた地域史料というのは大変魅力ですね。2年生・3年生は地域のことを学習するという単元が、いろんな教科であります。でも、割とそれって大人向けのものが多いので、ちょっと簡単に、子ども向けのものがあつたら良いなと、授業の際にはいつも思います。

新学習指導要領の中では、図書をすごく使うことが多い学習があります。低学年で、まち探検などで図書館に行きますので、子どもが見て分かる図書館マップが配られるようなものがあれば、「僕たちはここが一番近いから、行ってみようかな」ということにつながるのではないかなと思っております。

「山口市読書ノート」が無くなってしまうということはとても残念ですので、それに代わる、学校と図書館がつながる、子どもと図書館がつながる何か手立てが新しくできたら良いなと思っております。

○安光会長

外国語をたぶん、お調べになられたのかなと思いますので、お願いします。

○中央図書館 村中副館長

山口市立図書館年報の4ページ、2の資料収集の概況というところで、(1)蔵書数、①各館の一般のところを下にさがっていただきまして。

すみません。下の方からがわかりやすいようなので、先ほどの一般の計から上に、「ティーンズ」「参考資料」「漫画」「外国語」とあります。この外国語の欄、ここに、中央図書館が1, 185点と記載させていただいております。

何語という内訳は無いのですが、ちょっとそういったところで数字はあったのですが、御報告ができずに大変失礼いたしましたのですが、申し訳ございませんでしたということで、すみません。割って入っていきまして。

○安光会長

ありがとうございます。また、疑問点はこの資料を見ながらお話しいただければと思います。

○大野委員

先ほど、「ワイワイ図書館」を4月30日にやるとおっしゃったのですが、私もずっと見学してきて、「ワイワイ図書館」で各館がどんなことをやっているのかというのを紹介するビデオを作ってきましたが、今年はどうでしょうか。協力いただければやりますが、撮影は、自分しか撮れないだろうと思っています。私がひとりです。

○安光会長

各館の館長さんもそれぞれ登場されるかと思いますが、楽しみにしております。いつも編集が大変だと、もちろん撮影も大変ですが、それをまた編集されたりして、館長さんが出てお話になられるとか、なかなか素敵なので、あまり御無理のないように、楽しみにしております。

1日で周られるのでね。それがかなり広いので、「御無理は、」と言いながら「期待しています」と言うのも、なんか変なプレッシャーをかけております。

他はよろしいですね。やっぱり、口を開いちゃないとイケんと思って、よろしくお願いします。

○伊東委員

新山口のM e g r i b a (メグリバ)の話がありましたが、私も毎日、新山口駅を通っています。あそこの維新ホールは、実はちょっと遠いのですよ。

○安光会長

ちょっとありましたね。

○伊東委員

駅前とか何とか言っても、確かに新山口の在来線のところには高校生とかどっさりいるのだけれども、あの辺りにブックポストを作るのだったら、そこにブックポストがあったほうが良いじゃないかと。だからそこで借りて、例えば、いろんな市内の図書館で借りて、それをあそこの新山口で返せるのだったら、むしろ良いじゃ

ないか。それにつながって、時間のある時にはその維新ホールに行って、そこだったら予約本を受け取ることができるじゃないですか。そうすると、新山口で受け取って帰ろうという。予約の受取のため。それで基本的にはネットでもって、それこそ、高校生とか中学生は忙しいですから、その中でいろんな本を、「こんな本も山口市から借りれるんだ」ということで、その受取のポイントとして新山口駅とか、あそこの維新ホールを使って、返すのは新山口の駅の改札の隣ぐらいにすると、回収は大変ですけど、その回収の手間をかけてあげるといふことにすると、小・中・高校生の利用はぐっと増えるんじゃないかなというふうに思いますね。そのように活用なさったほうが良いんじゃないかなというふうな気がします。

今、私は福岡市在住なのですけれど、福岡市の地下鉄の駅のところに、福岡県立図書館の本も、福岡市の本も全部返したりできるようなポストがあるんですね。非常にあれが便利なので、そういう返すだけかもしれないですけど、それが利用につながっていくところがあると思うのです。

英語の本が小・中学生に良いという話で、いわゆる「ペンギン・ブックス」の「ラダーブック」ってあるじゃないですか。あのシリーズだったら、今、中学生とか中学校とか高校とかの中にもう、入っているのじゃないかと思うのですけれど。

たぶん、山口市立図書館の、この中央図書館の中にもあるんじゃないかと思うのですが、どうなんですかね。

ああいうシリーズ、あれ、レベルごとにずっとなっているのですよね。それこそ、朝の読書みたいな時にあれを読んでいくという、中学1年生ぐらいからどんどん話を読み飛ばしていくみたいな感じで。よく言いますよね。最近は辞書を引くんじゃなくて、分からないのは読み飛ばして、それで何冊も多読するのが良いんだって。そのために、要は朝の読書を使っても良いかもしれない。それが朝の読書の本当の目的かどうかはちょっと別として、それは疑問がありますが。にしても学校図書館が、それが難しければ中央図書館とかの学校図書館への貸出みたいなことで、いろんな「オックスフォード」とか「ペンギン・ブックス」とか、何社から出ていますけれども、あのシリーズを、変な話、集中的に購入して揃えて、学校図書館とかで使うようにして、高校生・中学生に貸出できるようにするというように、何かそういう手立てを考えたら良いんじゃないかなと思いました。

○安光会長

具体的にありがとうございます。

そうすると、ここに入っているかどうか、ちょっとその辺分からないのですけれども、またそういう方向性もあると思っております。

確かに、受け取るとか探しに行くのは割と前向きに行くのですが、返すときが、大変申し訳ないですけど、「近くにないかな。」って。だから、私は今、大学で返却とかやるのですよ。それができるので。返す時、延滞寸前までお借りしていたりするので、今の駅を利用する人はあれですけど、他のお買い物に行くところのスーパーの横とか、返却、今、そういうところには無いのですよね。

○中央図書館 尾崎主幹

一応、今は目が届く範囲のところしか置いていないです。学校敷地内とか、交流センターの前とか。全く目が届かない時間帯があるところにはまだ、ポストは置いていないです。建物の外ですから、夜でも夜中でも置けるのですけれど、今のところは公共施設のところにポストを置いて、今、初めてこちらのMe g r i b a (メグリバ)さんのところも、実は外にあるわけじゃなくて、中でして、午後10時まで開いているところに、今のところは、ポストを置いています。指定管理者でもあるからですね。

○安光会長

Me g r i b a (メグリバ)が、ですよ。

○中央図書館 村中副館長

あとは置く場所が、指定管理者ではないと、そこの交渉があるので、コンコースとかに置きたいというのはあったのですけれど、なかなかその辺の調整が、というのがありました。

○中村委員

私もよく、交流センターの返却ポストを使うのですけれど、ちょっと心配なのが、結構本が傷んでいるのじゃないかなと。見えるんですよ。ペッと開いたままで入っているのがあったりして、いくら気を付けて入れてもそういうことが起きて。返却場所がたくさんあるのは、利用者にとっては便利なことなのですが、その辺、図書館のほうはどんなふう感じて、返却ポストからの本って。それとか、ゴミとかが入っているとかもあるんですよ。他のところでは、どうなのかなって。

○中央図書館 村中副館長

それはどこのポストでも一緒です。図書館のポストでも一緒です。

○中村委員

どこにでも置けるのは有り難いのですけれども、ちょっとそのあたりもあるかなという気はします。

○中央図書館 尾崎主幹

一応、中に落ちた時に角が傷まないように、少し緩衝材を入れるとか、そのぐらいの対応はしているのですけれど、おっしゃられるように、落ちていく過程の中で開いてしまったり、本が折れたりということはありますし、今は利便性のほうをとって、返しやすいうようにということではやっていますけれど、おっしゃられるようにどこのポストでも、施設についているポストであっても、傷んだりゴミが入ったりということは、心ない人も多少いらっしゃることはあります。

○安光会長

多少のリスクは、無いほうが良いのですけれども、やはりそうしないと、ブックポストは一切置けなくなるので、それは利便性も考えているといったところであるかなと思いますし、さっき、先生がおっしゃったように、他県とかやっているのであれば、それをちょっと調査して、やるからには何かメリットが大きいじゃないかな

という。他の図書館のことを調べて、自分たちだけで良いの悪いのは考えずに、やってみるところでリスクは大きいのかというところなんか少し、調べてみるというのも良いのじゃないかなと。都会ですので、何が中に入っているのか分かりませんが、そういうところもなにか、他にも、もっと、やっているところもあるかもしれませんので、一応、ブックポストが不満だってわけじゃないですけども、少なすぎてどうこうというわけじゃないけれども、可能性はあるのかなのかというのも検証していただければと思っております。

○田邊委員

ブックポストのことでちょっと聞いてみたいことがあって、本とかは他の図書館にも返せるのですけれども、DVDとかCDはなぜ返せないのか。傷むからなのか。

○中央図書館 尾崎主幹

基本的には、今、おっしゃられる通りで、段差のあるところも、落差もありますし、どうしても傷むんです。そういうこともあって、特にDVDやCDについては借りていただいた館でお返しいただくようにしていますものですから、ポストのほうにはお返しいただかないということで、今のところはやらせていただいております。

○田邊委員

それで、他の館のDVDを取り寄せて借りることは、今後も不可能なのですか。

○中央図書館 村中副館長

回送の時に大量の本と一緒に運ぶと、やり方によっては良いでしょうけれど、そこで破損したりする恐れがあるので、館から館への回送の中に入れていないほうが、安全が高いのかなということ。ちょっと値段も本より高いので。DVDなんかは、上映権が付いているので、市販されている普通のDVDよりちょっとお高いということもあって、二の足を踏んでいる状態です。

○國弘委員

「まちじゅう図書館」はひと月に1回、交換にされるのですか。

○中央図書館 尾崎主幹

ふた月に1回になっています。

○國弘委員

いや、「まちじゅう図書館」にも返すポストがあったらと思ったのですけれど、ふた月に1回だとちょっと、毎日でも行けるのだったらでしょうけれどね。

○中央図書館 尾崎主幹

ポストについても、職員が、運転手をそこに配置をして取りに行かせているというのがありますので、どこまでが、コスト面も含めてできていくのか、というところも考えていくのかなと。どうしても本はできるだけ早く回して、次の方にお渡しはしたいので、ポストで回収するというのも非常に大切だと思っています。

○安光会長

あれば良いというものの、やはり人件費もかさんできますし、スピード感ということが無くなるかもしれません。

○山口委員

思い出したことがあって、国木田独歩の展示とかいろいろお願いした時に、「ひとりの方を取り上げるのは難しい」という返答があったのですが、今回、ちょっと前に重松清さんもやっていましたよね。YCAMとの合同かもしれないけれど、重松清だったらできて、国木田独歩は何でできないのかなというか。やっぱりYCAMと合同だったから、ああいう展示ができたのかな？

○中央図書館 尾崎主幹

YCAMさんでちょうど上映がございました。

○山口委員

もちろんそうなのですが、そういうことが無いと、できないのでしょうか。

○中央図書館 尾崎主幹

できないことはないです。もちろんできるのですが、この間は、たまたま国木田独歩さんのことがあったかもしれませんが、YCAMさんとはいつも、YCAMで何かを上映される、何か行事をされるときには、その関連本をお出しするような相互の取組をいつもしているものですから、重松清さんの場合は、たまたまそれが、YCAMがやられる時に、こちらの本を出したということではあったのだけれど、おっしゃられたように単独だからできないとか、これだったらできるとかできないということはもちろんないです。いろいろ計画を組んでいく中でやらせていただくことにしています。国木田独歩さんも、それだけの展示はしなかったのですが、国木田独歩関連のイベントとして、図書館まつりの時には大学生の皆さんが企画されました。

○安光会長

それはちょっと。

○山口委員

大学生はやりましたね。

○安光会長

学生はしっかり調べて、チラシは送りましたけれど、これは学生の発案なので、ちょっとそれは違うかなと。学生は良く調べていたかなと思います。そういうふうにコラボをして、あの時言われたのは、「亀吉ストラップ」を作ったのですが、その時に「国木田独歩の展示もありますか」と、学生で聞いた方が、「コーナーもないみたいです」というふうに答えたということなので、学生としては残念だったというふうなところですから。そうは言っても、何でもかんでも展示しては、むずかしいかと思うので、やはりこれは図書館も選択されて、「今回、これはこういう事情でできませんでした」で、それはそれで良いかと思います。「周年が来たから」といってやらなければならないってなると、大変なことが起こってくるかもしれません。ただ、少しそういうところには敏感になっていただけると嬉しいな

と思っております。

他によろしいでしょうか。

○中央図書館 松富館長

先ほど、お話が出た中で、広報の仕方を少し考えてほしい話があったのですが、今の市報で例にとりますと、合併して、それぞれ広報することがすごく多くて、限られた紙面がありますよね。多くなる、厚くなると、世帯数の多いところはとてもじゃないけれど、町内会から文句が出るぐらいの背景がある上、大体定期的なものを。先ほど、何年かいっぺんに、とおっしゃったのですが、そういったことなら可能かもしれませんけれども、そういった背景があるということで、御承知いただけたらと思います。自分たちも、今、おっしゃって、確かにそういうことが必要な部分があると思うので、どんなかたちだったら広報できるのかなというところはちょっと、研究させてもらいたいなというふうに思います。

それと、今のMe g r i b a (メグリバ)のようなところをたくさんという話がありましたけれども、先ほど、議題1でありましたように、何よりも予算。当然、人が増えると予算がかかりますので、予算を増やさずに環境が整うという「ツクリエ」さんというところと契約をして、夜10時まで人がいらっしゃるので「そこでこういうことをやってくれ」ということで契約をして、それで無料で、やっていただいているということがあるので、市民の利便性の活用にもつながるので、そういう条件が整ったからここでやらせてもらうという、そういった背景があると御理解いただければと。新山口駅はターミナル駅ですから、利用客も多いと思うのですが、同じことを山口駅でやるかといったら、無理ですからね。利用者の量が増えて、その利便性も確保できて、そういった背景もきちんと整理ができていっているということで、この度こういったサービスを始めさせていただいた。そういう背景があるので、そういったところがまた整っていけば、予算が図書館にドンと来るような時代になれば、御意見のようになるでしょうけれども、そういう背景があることを御理解いただきたいと思います。

いずれにいたしましても、皆さんからいただいた意見というのは、先ほど、会長さんもおっしゃられたように、我々も敏感になって、少し研究させてもらいたいなと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

○安光会長

もうひとつ、研究してほしいのが、防府が電子書籍を入れるって、この前言っていましたので、ただ、なかなか相当高いという話を聞いていますので、どうも、紙本で1,000円のが、電子書籍になると何千円もするとか、でも、他の市町は、まだですかね、県も入れてきて、避けられないと思うのですよ。別に来年度入れてください、再来年度入れてくださいというわけじゃないのだけれども、少し研究を始めておかないと、予算の要求もできないし、だから、紙をくっちゃうのもいけないと思うのですよ。紙の本が減っちゃって、電子書籍ばかりになるのもいけないけれども、やっぱり今後のこと、5年・10年って考えると避けられないこと

だと思しますので、方向性としてお考えを聞いていただければと思っておりますので、館長さんに投げておきます。お考えになるのは、じっくりお考えいただいて、よろしくをお願いします。

○中央図書館 松富館長

今の計画の中にも、そういった系統というのが入っているんですね。おそらく、次の計画の中にも入れると思しますので、その中でまた研究させていただきたいと思えます。

○安光会長

ずーっと検討しっぱなしじゃあ、ちょっとあんまりなのですけども、どこかで。

○中央図書館 松富館長

今、言われていたように、結構高いんですよ。それ、どのぐらい利用があるとか、回数の制限、2年間で52回といった。

○中央図書館 尾崎主幹

権利が無くなって、本が無くなってしまふんです。

○中央図書館 松富館長

そういった現実があるんですよ。ちょっと見ただけで、1回とカウントされるというのがあるらしくて。1回見たら、借りた人が見ていたらその期間、他の人が見られない。

○中央図書館 尾崎主幹

ひとりがアクセスしている間は、普通の紙の本と一緒に、借りられないんですよ。電子だとたくさん同時に見られるじゃないかという一体感がすごくあるのですが、実は、そうではなくて、普通の本と一緒になんです。コンテンツの数が。良い本は、」たくさんなかなか出版社が出してくれていないという部分と、先ほど、安光会長がおっしゃっていただいたように、値段が倍なんです。2年経ったら権利が無くなってしまふ本が、人気のある本はほとんどそう。買い取りのほうももちろんあるのでですけども。ただ、今、それがだんだん前を向いて進んでいく傾向になってくるでしょうし、避けては通れない部分ではあるので、しっかりと検討はしたいと。

実際には業者さんからお話をお聞きするという検討は、実はしているのです。

ただ、なかなか前向きになりきれしていないのは、そういう事情もちょっとありますということを御理解いただけたらと。

○安光会長

前もお話したけれども、買い切ってしまうものがあるので、県立は買い取り、買い取りをやっているようです。私どもも、ちょっとしか入っていませんけれども、買い取り、「丸善eBook」というものです。それはずっと、2年後に消えるということはありません。資産登録はしていませんけれども、方向性としてはそればかりで、高いんだ、高いんだで、確かに高いけれども、2年後にはなくなるんだっ

て、なくなるのもあると思うのですけれども、その辺も併せて。

○中央図書館 村中副館長

それはもっと高くなる。

○安光会長

それを覚悟しなければダメだと思うのですよ。

○中央図書館 村中副館長

会社が違うんです。学校でやられるのは研究書とかで、不朽の名作とかがあるのですけれども、当然、図書館の物は、不朽の名作は「青空文庫」で誰でも見られたりするわけですよ。けれども、人気本が出て「さあ、それを、」という、今、主幹が言ったように買い取りが無い。買い取りがあるものについて入れても、更新をかけていくという予算が圧迫されることを今、一番心配しているところなんです。

高齢の方とか読書が好きな人、紙が好きな人も存在するわけですよ。だから双方の意見を考えながら、どこが良いかを、落とすところを取っていくというので皆、苦勞して考えているわけですよ。

○安光会長

十分それは理解しております。避けては通れないというだけのことで、2年間したら無くなっちゃうわけで予算圧迫されちゃうってこともあるでしょうから。コロナ禍は決していいことじゃなかったですけど、いろんところで電子化というところが何歩も進みましたので、今後、御検討いただくとお願いしたいと思えます。

それではよろしいでしょうかね。いろいろ御意見あろうかと思えますけれども、事務局にお返しします。

○中央図書館 村中副館長

他に事務局からの連絡事項は無いようですので、私からひとつ御連絡させていただければと思います。

今年度の図書館協議会につきましては、本日が最終となります。次回は来年度開催の運びとなっております。開催日程については改めて調整をさせていただこうと思えますので、またその折にはよろしくお願ひしたいと思えます。

また、あて職の方について、交代される方については、新しい方に御連絡させていただきますし、何かありましたら、御意見等、お気づきがあれば教えていただければと思っております。

それでは、これもちまして第3回協議会は終了させていただきます。本日は会議の円滑な進行に御協力いただき、ありがとうございました。気を付けてお帰りください。

山口市立中央図書館

TEL 083-901-1040